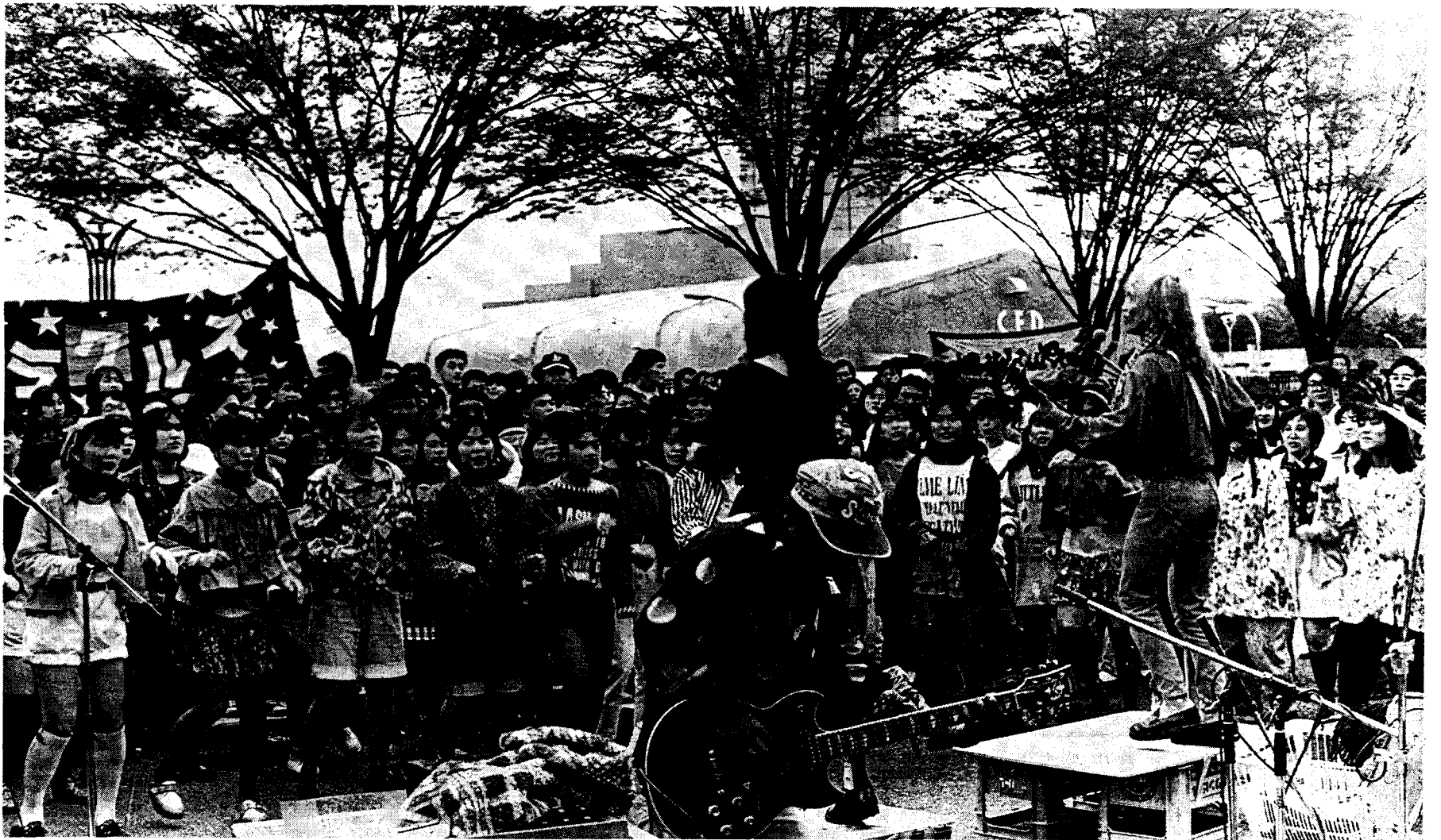


# うたごえ新聞

4 / 30  
(1990年)  
NO. 1302

THE SINGING VOICE OF JAPAN

日本のうたごえ全国協議会機関紙  
うたごえ新聞社  
〒169 東京都新宿区大久保2-16-36  
☎ 03 (209) 0638 FAX 03 (200) 0105  
振替口座 東京2-5631 毎週月曜日発行  
1部120円・税4円(〒26円)・月480円・税15円(〒120円)



▲「ホコ天」の常連バンド「SEEK (シーク)」の囲りにはティーン・エイジャーが殺到する

## イカ天 ホコ天 ロック・バンド・ブームを探る

東京・代々木公園の「ホコ天」(毎日曜日の歩行者天国)。今や、東京・代々木公園のなど形容詞をつけなくとも「ホコ天」といえばロック・ブーム、バンドブームの代名詞ともなっている。同じく「イカ天」は、TBS系で土曜の深夜(21:00より)田代では日曜(10時半〜三時まで)放映されるアマチュア・ロック・バンドによる勝ち抜き番組でフル・ネームは「平成名物TV・いかすバンド天国」。



▲こちら「ホコ天」バンド「狸茶」。

毎回十組のバンドが登場し、その中からその週のベスト・トリチャレンジャーを選び、前週のベスト(イカ天キング)と対戦し、五週勝ち抜くとランドイカ天キングになるというもの。今号では「イカ天」「ホコ天」に代表されるロック・バンド・ブームを見てみる。福島泰司記者 (4〜5面へつづく)

☆おこわり☆  
次号は5月7日・14日付の合併号(12ページ)でお送りします。なお5月21日付の発送は5月11日となります。うたごえ新聞社



暖冬のため桜の開花は例年より一週間以上も早く、すでに花はすっかり散ってしまった。  
この時期、お酒を飲む機会が何かと多い。私など酒好きというより、ワイワイつる話をするからの、そんな雰囲気が好きだ。だから、これも明日への「がんばりの活力」と勝手に納得してしまう。  
☆ ☆ ☆  
ところで人間の活力というか、ヤル気、エネルギーはどこから生まれてくるのだろうか。  
釣の好きな人はどんなに朝早くも出かけてゆく。山好きな人は危険な断崖に挑戦することに生きがいを感じている。愛する恋人たちはどんなに忙しんでも会う機会を捻出するだろう。  
☆ ☆ ☆  
うたごえはどうか。電話をかけ、よびかければレッスンに來ないという声もきくが、その人うたいたい要求、好きで好きでたまらないほびのめりこんでゆく音楽へのその活力の源ではないだろうか。  
☆ ☆ ☆  
この春開期、カロー死や低賃金に怒りを燃やし闘うこの「怒り」もまた活力源だ。  
「メーデー」歌集の普及も「わはならない」でなくうたごえのひろめることに喜びと楽しみを感じ、大いに普及したいものだ。がんばる時は徹底してがんばる。遊ぶ時は楽しくやる。本ものの活力を養いたいものだと思う。(修)